

令和7年度 税関 PR ポスター

愛知県立常滑高等学校
クリエイティブデザイン科
3年生制作



私は「コピー商品」の密輸をテーマに制作しました。

技術の発展により、コピー商品の製造が容易になり、商標権や特許権がある商品の転売や密輸することが増えてきています。コピー商品を購入する旅行者や特許権を侵害される特許権者を減らしたいと思い、このテーマにしました。

キャッチコピーの「バレてないと思ってる?」はコピー商品を転売する人や、密輸する人に、様々な隠し方をしても見抜いているということを伝えています。また、税関職員の方の力強い目線と、ブランドバッグの本物と偽物の違いがわかりやすくなるように描きました。



私は「不正薬物を国内に持ち込ませない」をテーマにしました。

今回の税関の方の説明で、「ポケットに大麻を入れて密輸」、「靴底に金を入れて密輸」、「麻薬樹脂を飲み込んで密輸」という話に興味を持ちました。そして、密輸されたものは、「X線検査」によって見つけられています。ポスターではX線検査装置を擬人化させ、虫眼鏡の覗き穴からX線が放射され、不正薬物を見つけ出している様子をイメージしてデザインしました。

X線によって見つけられてしまったら、「もう後戻りはできない、騙せない」ことをポスターを通じて伝えたいと思いました。



私は税関の信頼度を上げるため、税関が実際に取り締まった薬物の密輸摘発事例をポスターにしました。実際にあった事例を探すにあたって、税関公式サイトや、事例を紹介しているテレビ番組を参考にし、その中からピックアップしてポスターに取り入れました。

薬物の密輸をテーマにした理由は、事前学習での税関の方々の話を聞いた中で、カレンダーに薬物を染み込ませて密輸しようとした一例が深く印象に残ったためです。

私はこのポスターを見てくれた人に、税関への信頼や安心感を持ってほしいと思い制作しました。



密輸ダイヤルの白い粉・黒い武器の部分に着目して全体的に白黒で、見る人にこれが何のシルエットなのかを分かりやすく、かつ簡単な形で伝わるようなポスターを制作しました。

キャッチコピーである「起こすな悲劇、逃すな密輸」は、密輸が起こった後に引き起こされる犯罪やテロなどといった悲劇を止めるために、密輸を絶対に逃してはならないということが、このポスターを見た人に伝わってほしいという思いを込めて考えました。



私は、密輸の取り締まりについて PR ポスターを制作しました。最近では麻薬や金などの密輸が増えてきていると聞きました。密輸への注意喚起や税関の方が取り締まっているということを伝えるため、このテーマにしました。税関公式キャラクターのカスタム君を使い、わかりやすいデザインのポスターに仕上げました。

このポスターによって少しでも税関の方が行っている仕事が理解され、密輸に対しての意識が高くなればとてもうれしいです。



税関は動物の密輸を食い止める最前線に立ち、絶滅危惧種の命を守る重要な役割を担っています。

税関の取り締まりがあるからこそ、失われずにすんでいる命や、守られている未来があるということを伝えたいです。ポスターを通して、税関が密輸を防ぐことで絶滅危惧種の命や未来を守っているということを多くの人に知ってもらい、命の尊さを考えてもらえるようなポスターにしました。



私がテーマにした内容は、「ワシントン条約」です。絶滅危惧種として登録されている動物が、日本へ密輸されていると知りました。私はこの事を多くの人達に知ってもらいたいと思い、このポスターを制作しました。動物の命を一番に伝えるために、色に明暗の差をつけ、ハートの形だと分かるようにデザインしました。私はこのポスターを通して、密輸されている動物の命を「税関」が守っていることを伝えたいです。



私は、今回「密輸の取り締まり」をテーマに制作をしました。

税関の仕事は、不正薬物や拳銃、刃物などの危険物の密輸入を取り締まり、私たち国民や国の安全を守ることです。この仕事の大切さをわかりやすく伝えるため、税関のマスコットキャラクターであるカスタムくんが密輸の取り締まりをしている様子を描きました。

またこのポスターを通して、税関の方々の仕事により、私たちの安全が守られていること、そして危険物の密輸入は決して行ってはならないということを伝えたいです。



密輸の手口が巧妙化する今、人間の目や鼻だけで違法物を見抜くには限界があります。人の感覚で捉えられない隠蔽を正確に嗅ぎ分け、国への侵入を防ぐ役割を担っている麻薬探知犬の存在に焦点を当てて制作したポスターです。

密輸をする人達や、多くの人に「隠せばバレない」といった考えは間違いであり、税関職員の方の活躍により不正は必ず阻止され、明るみになることを知ってもらおうと共に、警告の意志をこのポスターに込めました。



税関職員の方が物の重さの違いや、荷物に触れることで密輸品を摘発するなど、少量でも決して見逃さないことが、とても印象に残りました。税関職員の方の研ぎ澄まされた知識や感覚で密輸品を探し、私たちには分からないところで日本を守って下さっています。

「密輸は必ずバレてしまう、必ず見つけ出す」ということが伝わるように制作しました。